

達第五十五號 (後送ス) 缺号

達第五十六號

大東亞戰爭中捕獲セル伊國砲艦「レバント」ヲ左ノ通命名ス

昭和十九年三月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

軍艦典津 (オキツ)

達

一三三

0153

達第五十七號

海軍考課表規則中左ノ通改正ス

昭和十九年三月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

別表第一號海軍武官考課表調製區分表軍令部、技術研究所、人事部、地方人事部、軍需部、艦船部、  
工 廠、航空技術廠、航空廠、港務部、警備戰隊、警備府、地方在勤武官府及艦隊ノ部中「各  
技手養成所 技手養成所 防備戰隊  
科特務中少尉」ヲ「特務士官」ニ改ム

大 兵 機 經 砲 水 機 航 通 潜 工 工  
學 學 學 學 學 學 學 學 學 學 學 學 學 學 學 學  
校 校 校 校 校 校 校 校 校 校 校 校 校 校 校 校  
部 中 「 教 頭 、 」 ヲ 「 副 校 長 、 教 頭 、 」 ニ 、 「 又 士 官 ヲ 」 ヲ 「 又 高 等 官 ヲ 」 ニ 、 「 特  
同 表

達

一三五

0154

務中少尉」ヲ「(特務士官タル者ヲ含ムモノトシ分隊長ノ職ニ補セラレタル者ヲ除ク)」ニ、「及特務士官」ヲ「(特務士官タル者ヲ含ムモノトシ分隊長ノ職ニ補セラレタル者ヲ除ク)」ニ、「看護兵曹長」ヲ「衛生兵曹長」ニ改ム

同表建築部ノ部ヲ左ノ如ク改ム

施設部		部	長
所	支部長、課長	支部長、課長、所長	
部長又ハ支部長指定ノ士官	幹事、教官	士官、特務士官	支部長又ハ課長ハ部員ヲ調製官ニ指定シ特務士官ノ考課表ヲ調製セシムルコトヲ得
	准士官、下士官		

同表海兵團ノ部ヲ左ノ如ク改ム

海兵團長	直屬艦船長、士官、特務士官	團長ハ各長ヲ調製官ニ指定シ各科中少尉(特務士官タル者ヲ含ムモノトシ分隊長ノ職ニ補セラレタル者ヲ除ク)ノ考課表ヲ調製セシムルコトヲ得	團長ハ其ノ附屬艦船部隊ノ士官考課表ヲ査閱ス
------	---------------	---	-----------------------

0155

達

		海兵團			
		副長			
司令官 又ハ司令官	直屬艦船長、直屬司令、士官、特務士官	分隊長	團長指定士官	主計長 (准士官學生ヲ除ク)	軍醫長 (准士官學生ヲ除ク)
		下士官、兵	准士官學生	主計長 (准士官學生ヲ除ク)	衛生兵曹長 (准士官學生ヲ除ク)
司令官又ハ司令官ハ首席參謀又ハ副長ヲ調製官ニ指定シ各科中少尉(特務士官タル者ヲ含ムモノトシ分隊長ノ職ニ補セラレタル者ヲ除ク)ノ考課表ヲ調製セシムルコトヲ得		各長又ハ團長指定ノ士官ノ調製又ハ査閲シタル考課表ハ副長之ヲ査閲ス 内務分隊、醫務分隊又ハ主計分隊ノ分隊長ノ調製シタル考課表ハ夫々内務長、軍醫長又ハ主計長之ヲ査閲ス			
司令官又ハ司令官ハ其ノ附屬艦船部隊ノ士官考課表ヲ査閲ス					

同表警備隊ノ部ヲ左ノ如ク改ム

一三七

0156

防備隊		警備隊	
軍醫長	副長	防備隊司令	首席參謀 又ハ副長
衛生兵曹長	兵曹長、飛行兵曹長、 整備兵曹長、機關兵 曹長、工作兵曹長	直屬 艦船長、 驅逐隊 潜水隊 水雷隊 掃海隊 士官、特務士官	兵曹長、飛行兵曹長、 整備兵曹長、機關兵 曹長、工作兵曹長
各長ノ調製又ハ査閲シタル考課表ハ首席參謀又ハ副長之ヲ査閲ス	各長ノ調製又ハ査閲シタル考課表ハ副長之ヲ査閲ス	司令ハ各長ヲ調製官ニ指定シ各科中少尉(特務士官タル者ヲ含ムモノトシ分隊長ノ職ニ補セラレタル者ヲ除ク)ノ考課表ヲ調製セシムルコトヲ得	各長ノ調製又ハ査閲シタル考課表ハ首席參謀又ハ副長之ヲ査閲ス 分隊長ノ調製シタル考課表ニハ隊内編制各科別ニ從ヒ各其ノ屬スル科長其ノ所見ヲ附記スルモノトス
司令ハ其ノ附屬艦船部隊ノ士官考課表ヲ査閲ス			

同表防備隊ノ部ヲ左ノ如ク改ム

0157

達

同表航空隊ノ部ヲ左ノ如ク改ム

潜水艦基地隊			
司令	副長	軍醫長	主計長
直屬艦船長、直屬司令、士官、特務士官	兵曹長、飛行兵曹長、整備兵曹長、機關兵曹長、工作兵曹長	衛生兵曹長	主計兵曹長
司令ハ各長ヲ調製官ニ指定シ各科中少尉(特務士官タル者ヲ含ムモノトシ分隊長ノ職ニ補セラレタル者ヲ除ク)ノ考課表ヲ調製セシムルコトヲ得	司令ハ其ノ附屬艦船部隊ノ士官考課表ヲ査閱ス	各長ノ調製又ハ査閱シタル考課表ハ副長之ヲ査閱ス	分隊長ノ調製シタル考課表ニハ隊内編制各科別ニ從ヒ各其ノ屬スル科長其ノ所見ヲ附記ス

同表潜水艦基地隊ノ部ヲ左ノ如ク改ム

主計長	分隊長
主計兵曹長	下士官、兵

一三九

0158

航空隊			
主計長	軍醫長	副長	航空隊司令
主計兵曹長	衛生兵曹長	曹長、工作兵曹長	直屬艦船長、士官、特務士官、學生、講習員
<p>司令ハ教官ヲ調製官ニ指定シ學生及講習員ノ考課表ヲ、各長（隊附タル航空機ノ整備主任者ヲ含ム）ヲ調製官ニ指定シ各科中少尉（特務士官タル者ヲ含ム）トシ分隊長ノ職ニ補セラレタル者ヲ除ク）ノ考課表ヲ調製セシムルコトヲ得</p> <p>教官ノ調製シタル學生講習員ノ考課表ニハ教頭其ノ所見ヲ附記ス</p> <p>司令ハ副官ヲ調製官ニ指定シ副官附主計兵曹長ノ考課表ヲ調製セシムルコトヲ得</p> <p>各長ノ調製又ハ査閲シタル考課表ハ副長之ヲ査閲ス</p> <p>飛行機整備分隊又ハ兵器整備分隊ノ分隊長ノ調製シタル考課表ハ隊附タル航空機ノ整備主任者之ヲ査閲ス</p> <p>分隊長ノ調製シタル考課表ニハ隊内編制各科別ニ從ヒ各其ノ屬スル科長其ノ所見ヲ附記ス但シ飛行隊ニ屬スル分隊長ノ調製シタル考課表ニハ飛行隊長亦其ノ所見ヲ附記ス</p> <p>航空隊編制令ノ規定ニ依リ分隊ニ編入セラ</p>			
			司令ハ其ノ附屬艦船部隊ノ士官考課表ヲ査閲ス

0159

達

艦 船					同表艦船ノ部ヲ左ノ如ク改ム		
分 隊 長	主 計 長	軍 醫 長	副 長	特 務 艦 長		輸 送 艦 長	分 隊 長
下 士 官、 兵	主 計 兵 曹 長	衛 生 兵 曹 長	兵 曹 長、 飛行 兵 曹 長、 整備 兵 曹 長、 機 關 兵 曹 長、 工 作 兵 曹 長	官、 候 補 生		士 官、 特 務 士	下 士 官、 兵
各長ノ調製又ハ査閱シタル考課表ハ副長之ヲ査閱ス 分隊長ノ調製シタル考課表ニハ艦内編制各科別ニ從ヒ各其ノ屬スル科長其ノ所見ヲ附記ス但シ飛行隊ニ屬スル分隊長ノ調製シタル考課表ニハ飛行隊長亦其ノ所見ヲ附記ス			副長ナキ艦船ニ在リテハ次席兵科將校ヲ調製官トス			艦長、輸送艦長又ハ特務艦長ハ各長ヲ調製官ニ指定シ各科中少尉(特務士官タル者ヲ含ムモノトシ分隊長ノ職ニ補セラレタル者ヲ除ク)又ハ候補生ノ考課表ヲ調製セシムルコトヲ得	

一四一

0160



驅掃水海潛驅 潛海雷防水逐 隊隊隊隊隊		驅逐艦長 潛水艦長 海防艦長 水雷艇長 掃海艇長		驅逐隊 潛水隊 海防隊 水雷隊 掃海隊 驅潛隊		同表 驅逐隊 潛水隊 水雷隊 掃海隊 ノ部ヲ左ノ如ク改ム
		准 士 官		司令 士官、特務士官		
分隊長ナキ驅逐艦、潜水艦、海防艦、水雷艇、掃海艇又ハ驅潛艇ニ在リテハ驅逐艦長、潜水艦長、海防艦長、水雷艇長、掃海		驅逐艦長、潜水艦長、海防艦長、水雷艇長、掃海艇長又ハ驅潛艇長ノ調製シタル機關科ニ配屬セラレタル中少尉(特務士官タル者ヲ含ムモノトシ分隊長ノ職ニ補セラレタル者ヲ除ク)准士官ノ考課表ニハ隊機關長其ノ所見ヲ附記ス		隊ヲ編成セザル驅逐艦、潜水艦、海防艦、水雷艇、掃海艇又ハ驅潛艇ノ艦長又ハ艇長ハ司令ニ準ズ 司令ハ驅逐艦長、潜水艦長、海防艦長、水雷艇長、掃海艇長又ハ驅潛艇長ヲ調製官ニ指定シ各科中少尉(特務士官タル者ヲ含ムモノトシ分隊長ノ職ニ補セラレタル者ヲ除ク)ノ考課表ヲ調製セシムルコトヲ得		

産

一四二

0161

達

海上護衛 總司令部		海上護衛參謀 海上護衛參謀長 護衛副官、特務士官		海上護衛參謀長、 直屬艦船長、直屬司令、士官、特務士官	海上護衛司令長官ハ部下士官ヲ調製官ニ指定シ直屬士官、特務士官ノ考課表ヲ調製セシムルコトヲ得
海上護衛參謀	海上護衛參謀長	海上護衛參謀、海上護衛副官、特務士官	海上護衛參謀長	海上護衛參謀長、直屬艦船長、直屬司令、士官、特務士官	海上護衛參謀長ハ海上護衛參謀又ハ海上護衛副官ヲ調製官ニ指定シ特務士官ノ考課表ヲ調製セシムルコトヲ得

同表通信隊ノ部中「各科特務中少尉」ヲ「特務士官（分隊長ノ職ニ補セラレタル者ヲ除ク）」ニ改ム  
同表艦隊ノ部ノ次ニ左ノ如ク加フ

分隊長	下士官、兵	艇長又ハ驅潜艇長指定ノ兵科佐尉官ヲ調製官トス 分隊長（又ハ指定調製官）ノ調製シタル考課表ハ驅逐艦長、潜水艦長、海防艦長、水雷艇長、掃海艇長又ハ驅潜艇長之ヲ査閱ス 隊機關長、隊軍醫長又ハ隊主計長ハ必要ニ應ジ夫々機關科、看護科又ハ主計科下士官、兵ノ考課表ニ所見ヲ附記スルコトヲ得
-----	-------	---

0162

一四三

長指定ノ海上 護衛參謀、海 上護衛副官 其ノ他ノ士官	准士官、下士官、兵
-------------------------------------	-----------

別表第二號海軍文官考課表調製區分表 建築部ノ部中「建築部」ヲ削リ經理部ノ部ノ次ニ左ノ如ク加  
フ

施設部	部長、支部長、所長又ハ 課長	部長又ハ支部長指定ノ高等官
-----	-------------------	---------------

同表艦隊ノ部ノ次ニ左ノ如ク加フ

海上護衛總司令部	海上護衛司令長官又ハ其 ノ指定ノ高等官	海上護衛參謀長指定ノ高等官
----------	------------------------	---------------

0163

達第五十八號

海軍工員臨時給與規則中左ノ通改正ス

昭和十九年三月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第六條ノ二 支那ニ在ル陸上ノ部隊其ノ他各部ニ勤務スル工員ニシテ別ニ定ムル所ニ依リ家族ヲ招

致シタル場合ニハ工長ニ在リテハ月額百圓、其ノ他ニ在リテハ月額八十圓ノ特別手當ヲ支給ス

第六條ノ三 前條ノ手當ハ左ノ區分ニ依リ之ヲ支給ス

- 一 家族工員ノ在勤應所在地ニ到着ノ日ヨリ工員退應ノ日又ハ家族工員ノ勤務應所在地ニ在ラザルニ至リタル日迄
- 二 手當ノ額ニ異動ヲ生ジタルトキノ新給與額ハ其ノ日ヨリ
- 三 所屬ヲ轉ジタル場合ニ於テ甲乙兩應ニ跨ル日ノ手當ノ支給ハ甲應トス

第七條ニ左ノ二項ヲ加フ

第六條ノ二ノ規定ニ依リ特別手當ノ支給ヲ受クル者ニハ家具ヲ貸與スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル家具ノ定數ハ別ニ之ヲ定ム

達

一四五

0164

第九條ノ二 第六條ノ二ノ規定ニ依リ特別手當ノ支給ヲ受クル者ニハ前條ノ規定ニ拘ラズ別表ニ依  
リ糧食及薪炭ヲ給與ス

附 則

本達ハ昭和十九年一月十二日以後ノ給與ニ付之ヲ適用ス但シ第六條ノ二ノ改正規定ハ昭和十八年十  
二月一日以後ノ給與ニ付之ヲ適用ス

(別表一葉添)

(参照) 海軍機密會計法規類集一五二頁

0165

(別表)

(昭和十九年第五十八號)

備考	石炭	食砂 鹽糖	醬味 油噌	精米		品目	量	額	記	事
				大人	小人					
一 本表ノ糧食及薪炭ハ家族工員ノ在勤廳所在地ニ到着ノ日ヨリ家族工員ノ勤務廳所在地ニ在ラザルニ至リタル日迄之ヲ支給ス 二 旅費ノ支給ヲ受クル期間其ノ本人ニ對スル分ノ糧食ハ支給セズ 三 本表ニ於テ小人ト稱スルハ數ヘ年十歳以下ノ者ヲ謂フ	一家族月量			一人日量						
	九〇匹	一〇瓦 一五瓦	〇、〇二立 三五瓦	四〇〇瓦 二五〇瓦						
	木炭、薪等ヲ以テ石炭ニ代用スルヲ適當ト認ムル場合ハ當該地ニ於テ石炭使用ニ要スル經費ノ範圍内ニ於テ所屬長官ノ定ムル所ニ依リ換給スルコトヲ得			所屬長官必要ト認ムルトキハ量額ノ割合ヲ以テ相互換給スルコトヲ得	所屬長官必要ト認ムルトキハ換給量額ヲ定メ代用食品ヲ給スルコトヲ得					

0166

達第五十九號

海軍潛水學校規則中左ノ通改正ス

昭和十九年三月八日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第四條中「教頭」ノ下ニ「(分校ニ在リテハ分校長)」ヲ加フ

第五條中「潛水艦」ヲ「潛航術」ニ改ム

第八條第三項中「練習生在籍鎮守府別」ヲ「各其ノ在籍ノ鎮守府別」ニ改ム

第九條ノ五中「兵科及機關科將校」ヲ「兵科將校」ニ改ム

第十一條ノ二 練習生ヲ左ノ九種ニ區別ス

- 一 普通科潛航術水雷練習生
- 二 普通科潛航術内火練習生
- 三 普通科潛航術電機練習生
- 四 高等科潛航術水雷練習生
- 五 高等科潛航術操縱練習生

達

一四七

0167

- 六 高等科潛航術内火練習生
- 七 高等科潛航術電機練習生
- 八 特修科潛航術水雷練習生
- 九 特修科潛航術水測練習生

前項中第一號乃至第三號ニ掲クル練習生ヲ普通科潛航術練習生、第四號乃至第七號ニ掲クル練習生ヲ高等科潛航術練習生、第八號及第九號ニ掲クル練習生ヲ特修科潛航術練習生ト總稱ス

第十二條 普通科潛航術練習生ハ左ノ各號ニ適合スル水兵又ハ機關兵ニシテ海兵團ニ於テ所定ノ教育ヲ終了シタルモノノ中ヨリ之ヲ選拔ス

- 一 品行方正ニシテ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルコトナキ者
  - 二 掌潛航兵ト爲スニ適當ナル性能學力ヲ有スト認ムル者
- 第十二條ノ二 高等科潛航術練習生ハ海軍一等兵曹又ハ海軍一等機關兵曹ニシテ進級實役停年ヲ有セサルモノ又ハ海軍二等兵曹、海軍二等機關兵曹若ハ任用實役停年ヲ有スル海軍水兵長若ハ海軍機關兵長ニシテ左ノ各號ニ適合スルモノノ中ヨリ之ヲ選拔ス
- 一 品行方正ナル者



二 潜水艦ニ關スル要務ヲ執ラシムルニ適當ナル性能學力ヲ有スト認ムル者  
三 普通科潛航術練習生教程ヲ卒業シタル日ヨリ一年以上潜水艦勤務ニ服シ其ノ特技章ヲ有スル者

第十二條ノ三 特修科潛航術練習生ハ海軍上等兵曹又ハ進級實役停年ヲ有スル海軍一等兵曹ニシテ左ノ各號ニ適合スルモノノ中ヨリ之ヲ選拔ス

一 品行方正ナル者

二 發射機長、魚雷調整班長、縦舵機調整手、潜水艦ノ水中測的員等ノ重要ナル配置ニ充ツルニ適當ナル性能學力ヲ有スト認ムル者

三 高等科潛航術水雷練習生又ハ高等科水測術練習生教程ヲ卒業シタル日ヨリ一年以上魚雷又ハ水中測的關係勤務ニ服シ其ノ特技章ヲ有スル者

第十五條 普通科潛航術練習生ヲ採用スルニハ吳鎮守府司令長官ハ前條ノ採用員數、入校期日其ノ他必要ノ事項ヲ他ノ鎮守府司令長官ニ通知スヘシ

鎮守府司令長官ハ前項ノ通知ニ從ヒ潛航術練習生ヲ志願スル水兵及機關兵ニ對シ海兵團入團時海兵團長ヲシテ身體検査及海軍潛水學校長ノ送付セル試験問題ニ依リ指定期日ニ於テ試験ヲ行ヒ第

達

一四九

0169

十二條ノ規定ニ該當スル者ヲ選抜シ各練習生別ニ選抜表(別表第三)ヲ調製シ鎮守府司令長官ニ報告セシム鎮守府司令長官ハ之ニ基キ掌潛航兵タルヘキ者ヲ決定シ其ノ者ニ對シ海兵團長ヲシテ所定ノ教育ヲ施サシメタル後出發前更ニ身體検査ヲ行ハシメ合格者ハ修業成績表及選抜ノ際ニ於ケル試験成績表ヲ添ヘ之ヲ海軍潛水學校長ニ通知シ期日内ニ入校セシムルモノトス

高等科潛航術練習生又ハ特修科潛航術練習生ヲ採用スルニハ吳鎮守府司令長官ハ前條ノ採用員數候補者選抜期限、入校期日其ノ他必要ノ事項ヲ他ノ鎮守府司令長官ニ通知スヘシ

鎮守府司令長官ハ前項ノ通知ニ從ヒ艦船部隊其ノ他各部ノ長ヲシテ練習生志願者ニ就キ身體検査ヲ行ヒ特修科潛航術練習生ニ在リテハ第十二條ノ三ノ規定ニ該當スル者ヲ選抜シ高等科潛航術練習生ニ在リテハ海軍潛水學校長ノ送付セル試験問題ニ依リ各其ノ指定期日ニ於テ試験ヲ行ヒ第十二條ノ二ノ規定ニ該當スル者ヲ選抜シ所見表(別表第二)ヲ調製シ選出期限内ニ鎮守府司令長官ニ報告セシム鎮守府司令長官ハ更ニ選抜ヲ行ヒ所見表ト共ニ其ノ採用人名及所屬ヲ海軍潛水學校長ニ通知シ艦船部隊其ノ他各部ノ長ヲシテ期日内ニ入校セシム艦船部隊其ノ他各部ノ長ハ其ノ出發前ニ於テ更ニ身體検査ヲ行ヒ不合格ノ者アルトキハ之ヲ在籍ノ鎮守府司令長官ニ報告シ鎮守府司令長官ハ補缺採用ノ手續ヲ行フモノトス

0170

第十七條 削除

第二十條ノ二 所轄長ハ海軍特修兵令第六條ノ規定ニ依リ特技章ヲ褫奪シタルトキハ之ヲ本人在籍

ノ鎮守府司令長官ニ報告又ハ通報スルト同時ニ海軍潛水學校長ニ通知スヘシ

第二十四條 海軍潛水學校學生及練習生ノ修業期間ヲ左ノ如ク種別ス但シ時宜ニ依リ多少伸縮セシ

ムルコトアルヘシ

- |             |      |
|-------------|------|
| 一 甲種學生      | 六月   |
| 二 高等科學生     | 一年   |
| 三 普通科學生     | 六月   |
| 四 特修科學生     | 六月以内 |
| 五 専攻科學生     | 一年以内 |
| 六 普通科潛航術練習生 | 八月   |
| 七 高等科潛航術練習生 | 九月   |
| 八 特修科潛航術練習生 | 六月以内 |
- 附則

達

一五一

0171

本達ハ昭和十九年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

本達施行ノ際従前ノ規定ニ依リ左ノ上欄ニ掲クル練習生トシテ現ニ修業中ノ者ハ本達ニ依ル各其ノ相當ノ下欄ニ掲クル練習生トス

潜航術水雷練習生	普通科潜航術水雷練習生
潜航術内火練習生	普通科潜航術内火練習生
潜航術電機練習生	普通科潜航術電機練習生

従前ノ規定ニ依リ海軍潜水學校練習生教程ヲ卒業シタル者ニシテ特修科水雷術、特修科水測術、高等科水雷術、高等科内火術、高等科電機術、普通科水雷術、普通科内火術又ハ普通科電機術ノ特技章ヲ有スルモノハ夫々之ヲ本達ニ依ル特修科潜航術水雷練習生、特修科潜航術水測練習生、高等科潜航術水雷練習生、高等科潜航術内火練習生（自動車班ヲ専修シタルモノヲ除ク）、高等科潜航術電機練習生、普通科潜航術水雷練習生、普通科潜航術内火練習生（自動車班ヲ専修シタルモノヲ除ク）又ハ普通科潜航術電機練習生ノ教程ヲ卒業シタル者ト看做ス

前項ノ規定ニ依リ掌潜航兵ト爲リタル者ノ従前ノ特修兵タル期間ハ掌潜航兵ト爲リタル日ノ前日迄

0172

トス

(諸例則卷一、六七六頁参照)

(別表一葉添)

達第六十號

海軍省處務規程中左ノ通改正ス

昭和十九年三月八日

海軍大臣 嶋田 繁太郎

第十八條第一號及第二號ヲ左ノ如ク改ム

一 人事一般ニ關スルコト

二 士官、特務士官、候補生、見習尉官、准士官、召集中ノ豫備士官及准士官竝ニ文官ノ進退、  
任免、補職及増俸ニ關スルコト

同條第三號中「准士官及」ヲ「見習尉官、准士官、召集中ノ豫備士官及准士官竝ニ」ニ改メ同條第  
八號ヲ左ノ如ク改ム

達

一五三

0173

八 下士官及兵並ニ召集中ノ豫備下士官及豫備兵ノ任免、進級及増俸ニ關スルコト  
第十九條本文ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ人事局第一課及第三課並ニ教育局第一課ノ所掌ヲ除ク

同條中第四號ヲ第五號トシ以下順次一號宛繰下テ第三號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

四 戰歿者ニ關スルコト

第十九條ノ二 人事局第三課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 戰時充員計畫ニ關スルコト

二 軍人(召集中ニ非サル海軍豫備員ヲ除ク)及文官ノ充足養成及分限ニ關スルコト

三 軍人(召集中ニ非サル海軍豫備員ヲ除ク)ノ服役ニ關スルコト

四 海軍依託學生徒及海軍豫備員候補者ノ採用ニ關スルコト

五 志願兵及徵兵ノ徵募徵集ニ關スルコト

六 前諸號ニ係ル規程及命令ニ關スルコト

七 統計及年報材料ニ關スルコト

(諸例則卷一、九七頁參照)

0174

(別表第三)

第一期普通科潛航術

水内電  
雷火機

練習生候補者選抜表

(昭和十九年達第五十九號)

				序順拔選
				體身
				術學
				性適
				物人
				序順績成
				入團前ノ
				業職
				日月年生
				氏名
				號番籍入

0175

達第六十一號

兵器經理規程中左ノ通改正ス

昭和十九年三月九日

海軍大臣 嶋田繁太郎

別表第四號内務長ノ項中「外國製防毒面、教練用防毒面」ヲ「防毒面(三〇)、檢知器、除毒劑」ニ改ム

同表航海長ノ項中「三杆分度儀」ノ前ニ左ノ如ク加フ

短艇羅針儀(五)、擴大鏡、星球儀(二)、信號拳銃(二)、電動測深儀用鋼線保護管、錘量、空盆  
晴雨計(二)、自記晴雨計(二)、雨量計、雨量樹、瀝水瓶、蒸發計、視界計、風信計算器(二)、  
測風圖板(二)、氣球秤(二)、氣球瓦斯移出管(二)、氣球浮力測定器(二)、氣球減壓弁(二)、  
風速計(二)、喇叭(五)、亞式信號燈(二)、掛時計類(計五)、秒時計一型乙(二)、距離概測  
鏡(二)、稜鏡双眼鏡(五)、○測距儀、○六分儀、○信號兵器、○眼鏡類  
同表水雷長ノ項中「尾索」ノ前ニ左ノ如ク加フ

○魚雷射表、○同増補、○壓力計(特用共)、○裝氣管(特用共)、○曳揚環、○魚雷回轉器、○ト

達

一五五

0176



リクレン格納筐

同表機雷長ノ項中「五號甲回螺器」ノ下ニ「三號蓄電池類、試験器具類（要具筐ヲ含ム）、〇其  
ノ他裝備工事ヲ要セザル各種兵器」ヲ加フ

同表通信長ノ項中「手動電鍵」ノ下ニ「三號蓄電池類、試験器具類（要具筐ヲ含ム）」ヲ加フ  
同表備考ノ項「貸與期間ハ一ケ年以内トス」ヲ左ノ如ク改ム

一 貸與期間ハ一ケ年以内トス

二 〇印兵器ノ貸與期間ハ一ケ月以内トス

三（ ）内數字ハ同數量以内ナルコトヲ示ス

（會計法規類集四卷、一八九頁參照）

0177

達第六十二號

海軍兵進級規則中左ノ通改正ス

昭和十九年三月九日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第三條第四項及第五項ヲ削ル

第四條ノ二第一項本文中「又ハ乙種飛行豫科練習生タル」ヲ「又ハ乙種飛行豫科練習生(乙種飛行豫科練習生(特)ヲ含ム以下之ニ同シ)タル飛行兵及乙種飛行豫科練習生出身ノ」ニ改メ「第五條」ノ下ニ「第六條ノ二」ヲ加フ

同項第一號中「海軍練習航空隊規則ニ依ル甲種飛行豫科練習生修業期間」ヲ「入隊後」ニ改メ同第二號中「飛行兵」ノ下ニ「及同出身ノ飛行兵」ヲ加ヘ「海軍練習航空隊規則ニ依ル乙種飛行豫科練習生修業期間」ヲ「入隊後」ニ改ム

同條第二項ヲ左ノ如ク改ム

前項ノ場合ニ於テ延期修業ノ爲次期編入ト爲リタル者ノ其ノ後ノ進級ハ新ニ編入セラレタル期ノ者ト同一トス同期練習生ヲ數回ニ區分修業セシムルトキ延期修業ノ爲次回以後ノ修業ト爲リタル

達

一五七

0178

者ニ付亦之ニ準ズ

第四條ノ三第二項及第三項ヲ削ル

第六條ノ二 海軍兵ノ進級ニ必要ナル經過期間ヲ定メアル場合ニ於テ現職階中ノ除算日數(海軍武官進級令第九條ノ規定ニ準シ計算スルモノトス)一月以上(月ノ端日數ハ切捨ツ)アル者ハ除算日數ニ相當スル期間其ノ經過期間ヲ延長シ進級セシム

所轄長ハ前項ノ規定ニ依リ進級ヲ延期シタル者アルトキハ其ノ事由ヲ在籍鎮守府司令長官ニ報告スヘシ

第六條ノ三 海軍兵ノ進級ニ必要ナル經過期間ヲ定メアル場合ニ於テ補缺採用其ノ他ノ事由ニ依リ十日以内其ノ期間ニ滿タサル者ハ之ヲ短縮シ進級セシムルコトヲ得

第十三條 所轄長ハ前條ノ告達員數以内ニ於テ兵進級決定候補名簿ノ順序ニ依リ現在所屬ノ如何ニ關セス進級セシム但シ所屬ヲ變更シタル者ニ在リテハ新所轄長ニ之ヲ移牒スルモノトス

第四條第三項ノ規定ニ該當スル者ノ進級ハ前項ノ規定ニ拘ラズ其ノ際所轄長ニ於テ之ヲ行フコトヲ得

第二十一條中「若ハ乙種飛行豫科練習生タル」ヲ「甲種若ハ乙種飛行豫科練習生タル飛行兵、乙

0179

種飛行豫科練習生出身ノ」ニ改ム

第二十二條ノ三中「第二十二條第二項」ヲ「第二十二條第三項」ニ改ム

第二十四條中「進級セシメ共ノ事由ヲ具シ速ニ在籍鎮守府司令長官ニ報告スヘシ」ヲ「進級セシムヘシ」ニ改ム

第二十四條ノ二 所轄長兵ノ進級ヲ行ヒタルトキハ速ニ在籍鎮守府司令長官ニ報告（特殊進級ニ在リテハ事由ヲ詳記ス）スヘシ

達

一五九

0180

達第六十三號

海軍下士官兵身上取扱規則中左ノ通改正ス

昭和十九年三月十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第三條 特別志願兵初メテ海軍兵籍ニ入りタルトキ又ハ兵種ヲ變更シタルトキハ警備府毎ニ兵種別

ニ區分シ左ノ例ニ依リ各第一號ヨリ順次之ニ入籍番號ヲ附與スヘシ

鎮海警備府

鎮志水第

號

鎮箱整第

號

高雄警備府

高志機第

號

高補主第

號

第五條ノ二中「在籍鎮守府」ノ下ニ「特別志願兵ニ在リテハ在籍警備府トス以下之ニ同シ」ヲ加フ

第九條ノ二中「市區町村長」ノ下ニ「市區町村長ニ準ズベキ者ヲ含ム以下之ニ同ジ」ヲ加フ

第十條中「官職姓名ノ上ニ」ヲ「官職姓名ノ下ニ」ニ改ム

(諸例則卷二、二九七頁參照)

達

一六一

0181

達第六十四號

昭和十三年達第四十五號中左ノ通改正ス

昭和十九年三月十日

海軍大臣 嶋田 繁太郎

第二條 前條ノ囑託者、雇員及傭人海軍共濟組合規則第二十條ニ定ムル現業廳ニ勤務スルトキハ大正十一年勅令第六十號及昭和十六年勅令第七百六十九號ニ依ル政府給與金ニ相當スル金額ハ之ヲ海軍共濟組合ノ支辨トス

達第六十五號

當分ノ間海軍經理學校規則第四十六條第二項、海軍砲術學校規則第十條第三項、海軍水雷學校規則第八條第二項、海軍機雷學校規則第八條第三項、海軍航海學校規則第八條第三項、海軍通信學校規則第八條第三項、海軍潜水學校規則第八條第三項、海軍工機學校規則第八條第三項、海軍工作學校規則第八條第三項、海兵團練習部規則第四條第一項及海軍病院練習部規則第十二條第三項ノ規定ニ拘ラズ練習生ノ學業考課表ハ之ヲ提出又ハ送付セザルコトヲ得

昭和十九年三月十日

海軍大臣 嶋田 繁太郎

0182

達第六十六號

軍屬船員身上取扱要領細則申左ノ通改正ス

昭和十九年三月十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第十七條第五號ノ次ニ左ノ三號ヲ加フ

六 第三十特別根據地隊司令官

七 第十五警備隊司令

八 第十六警備隊司令

参照 昭和十八年達第五十四號ノ件ナリ

達

一六三

0183

達第六十七號

雇員備人規則中左ノ通改正ス

昭和十九年三月十四日

海軍大臣 嶋田繁太郎

附表第二中機關手ノ項勤務廳ノ欄「經理學校、軍醫學校、」ヲ「學校、」ニ、電機手ノ項「施設部出張所」ノ下ニ「學校」ヲ、靴工手ノ項「軍需部、」ノ下ニ「兵學校、機關學校、經理學校、」ヲ、裁縫手ノ項「衣糧廠、」ノ下ニ「兵學校、機關學校、經理學校、」ヲ加フ

(諸例則卷三、七八八乃至七九二頁参照)

達第六十八號

健康保險被保險者診療規則中左ノ通改正ス

昭和十九年三月十四日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第二條、第三條第一項、第四條第一項、第五條、第六條、第七條、第八條、第九條及第十一條中

達

一六五

0184



「要港部病院」ヲ削ル

第三條第一項及第五條中「又ハ保險者」ヲ削ル

第四條第一項中「又ハ保險者ノ發行スル健康保險需療書又ハ被保險者證」ヲ「ノ發行スル健康保險部組合員證」ニ、同條第二項中「健康保險需療書又ハ被保險者證」ヲ「健康保險部組合員證」ニ改

ム

第六條中「健康保險需療書又ハ被保險者證」ヲ「健康保險部組合員證」ニ改メ「又ハ健康保險法第四十九條若ハ第五十六條ノ定ムル埋葬料若ハ埋葬費ノ支給ヲ受クベキ者」ヲ削ル

第八條及第九條中「又ハ保險者タル健康保險組合」ヲ削ル

第十條第一項中「、保險者」ヲ削ル

第十二條 歳入徴收官前條ノ診療明細書ノ送付ヲ受ケタルトキハ第三號書式ニ依リ診療費計算書ヲ作製シ納入告知書ヲ海軍共濟組合會計規程第六條ノ規定ニ依リ定メラレタル出納主任中海軍艦政本部長ノ指定シタルモノニ送付スベシ

第十三條中「負傷シタル場合ハ」ノ下ニ「海軍共濟組合規則施行細則第三十二條ノ規定ニ依ル」ヲ加フ

0185

第一號書式、第二號書式及第三號書式ヲ別紙ノ如ク改ム

(別紙三葉添)

(参照) 海軍共済組合例規八九頁

達第六十九號

雇員傭入規則中左ノ通改正ス

昭和十九年三月十四日

海軍大臣 嶋田繁太郎

附表第二中洗濯手ノ項中「※病院、」ノ下ニ「學校、」ヲ加フ

(諸例則卷三、七八八乃至七九二頁参照)

達

一六七

0186



(第二號書式)

(昭和十九年達第六十八號)

昭和 年 月 分診療明細書 昭和 年 月 日 (病院又ハ診療所名)

0188

診療種別	被保険者 診療人員	入院日數	診療點數					記 事
			藥 治	處 置	手 術	其ノ他	計	
一般診療								
齒科診療								
合 計								

- 備考 1 被保険者ノ屬スル應毎ニ別紙トス  
2 「入院日數」欄ハ入院ノ日ヨリ退院ノ前日迄ノ日數ヲ記載ス  
3 診療點數ハ昭和三年官房第二三七〇號診療費計算規程ニ依リ記載ス

(第三號書式)

(昭和十九年達第六十八號)

昭和 年 月 分 診 療 費 計 算 書

0189

診療種別	被 保 險 者 所 屬 應 別	入 院 料		薬 治 料		處 置 料		手 術 料		其 ノ 他		計 (入院料ヲ除ク)		金 額 合 計
		日 數	金 額	點 數	金 額	點 數	金 額	點 數	金 額	點 數	金 額	點 數	金 額	
一般診療	何々工廠													
	何々航空廠													
	何々軍需部													
	何々施設部													
	何々港務部													
	何々、、、													
齒科診療	何々工廠													
	何々航空廠													
	何々軍需部													
	何々施設部													
	何々港務部													
	何々、、、													
合 計														

- 備考 1 本計算書ハ海軍病院其ノ他海軍診療施設ヨリ送附シタル診療明細書ニ依リ調製ス  
 2 金額ハ昭和三年官房第二三七〇號診療費計算規程ニ依ル單價ニ依リ計算ス

達第五十五號ハ燒却相成度  
(達第五十五號ハ缺號頁「一」  
三「一」三「二」ハ缺頁トス)

達第七十號

昭和十八年度ニ於テ建造ニ着手ノ潜水艦一隻、海防艦二隻、輸送艦三隻、驅潛艇二隻及敷設艇一隻  
ニ左ノ通命名ス

昭和十九年三月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

川崎重工業株式會社ニ於テ建造

伊號第一潜水艦

日本鋼管株式會社鶴見造船所ニ於テ建造

海防艦 沖 繩 (オキナワ)

日本海船渠株式會社ニ於テ建造

第二十一號海防艦

三菱重工業株式會社橫濱船渠ニ於テ建造

第二號輸送艦

吳海軍工廠ニ於テ建造

達

一六九

0190

達

第三號輸送艦

第四號輸送艦

浪速船渠株式會社ニ於テ建造

第五十六號驅潛艇

函館船渠株式會社ニ於テ建造

第五十七號驅潛艇

日立造船株式會社ニ於テ建造

敷設艇 網代 (アジロ)

170

0191

達第七十號 (後送ス)

達第七十一號

海軍囑託者報酬増額取扱規則中左ノ通改正ス

昭和十九年三月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第四條 第一項中但書ヲ削ル

第六條中「部内限判任官待遇以上ノ囑託者ノ報酬増額ハ毎年二月一日、八月一日現在ノ所屬」ヲ

「所轄長ハ囑託者ニシテ報酬増額至當ト認ムルモノヲ毎年一月二十日、七月二十日現在」ニ、其ノ月

ノ十日迄ニ」ヲ「其ノ月末迄ニ」ニ改ム

第七條中「二月二十日、八月二十日」ヲ「二月十日、八月十日」ニ改ム

別表ヲ削ル

附則

本達ハ昭和十九年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

達

一七一

0192



達第七十二號

海軍囑託者身上取扱規則中左ノ通改正ス

昭和十九年三月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第一條 勅任官、同待遇者、奏任官、同待遇者又ハ部内限勅任官若ハ奏任官ヲ以テ待遇スベキ者ノ

囑託ハ海軍大臣之ヲ行フ

所轄長前項ノ囑託者ニ採用スベキ者アルトキハ囑託採用具申書(第一様式)ニ履歷書(海軍文官  
身上取扱規則第二様式)、身元調書(第二様式)(本官アル者ヲ除ク)、戸籍謄本(本官アル者ヲ  
除キ初メテ採用スル場合ニ限ル)及身體検査證(海軍文官身上取扱規則第四様式)(他ニ本務ヲ  
有スル者ヲ除ク)ヲ添へ所屬長官ヲ經テ之ヲ海軍大臣ニ具申スベシ

第二條 判任官、同待遇者又ハ部内限判任官ヲ以テ待遇スベキ者及待遇ヲ付與セザル者ノ囑託ニ在  
リテハ豫算ノ範圍内ニ於テ所屬長官專行ノ上海軍大臣ニ之ヲ報告スベシ但シ部内限判任官ヲ以テ  
待遇スベキ事務ノ囑託者ノ採用員數ニ付テハ海軍大臣ノ認許ヲ受クベシ  
所轄長前項ノ囑託者ニ採用スベキ者アルトキハ前條第二項ノ規定ニ準ジ所屬長官ニ具申スベシ

達

一七三

0193

第四條 所轄長ハ囑託者ニシテ解囑ヲ要スルモノアルトキハ事由ヲ附シ勅任官、同待遇者、奏任官、同待遇者又ハ部内限勅任官待遇者若ハ同奏任官待遇者ニ在リテハ海軍大臣ニ、判任官、同待遇者、部内限判任官待遇者又ハ待遇ヲ付與セザル囑託者ニ在リテハ所屬長官ニ具申スベシ（解囑具申書式第三様式）

第七條中「第三様式」ヲ「第四様式」ニ改ム

第八條第一項ヲ左ノ如ク改ム

所轄長ハ相互ノ協議ニ依リ他ノ所轄ニ兼囑又ハ轉囑セシムベキ囑託者アルトキハ事由ヲ附シ勅任官、同待遇者、奏任官、同待遇者又ハ部内限勅任官待遇者若ハ同奏任官待遇者ニ在リテハ海軍大臣ニ、判任官、同待遇者、部内限判任官待遇者又ハ待遇ヲ付與セザル囑託者ニ在リテハ所屬長官ニ具申スベシ

同條第二項中「其ノ他ノ者」ヲ「待遇ヲ付與セザル囑託者」ニ改ム

第八條ノ二 所轄長囑託者ニシテ待遇ノ昇格ヲ要スルモノアルトキハ第一條第二項ノ規定ニ準ジ之ヲ海軍大臣又ハ所屬長官ニ具申スベシ（昇格具申書式第一様式ニ準ズ）

所屬長官前項ノ規定ニ依リ囑託者ノ待遇ヲ昇格シタルトキハ之ヲ海軍大臣ニ報告スベシ

0194

第九條中「又ハ鎖守府所屬以外ノ各廳ノ判任官、同待遇者若ハ部内限判任官待遇者」ヲ削リ「其ノ他ノ判任官、同待遇者又ハ部内限判任官待遇者」ヲ「鎖守府所屬ノ判任官、同待遇者又ハ部内限判任官待遇者」ニ改メ、「所屬鎖守府ノ海軍人事部ニ、」ノ下ニ「鎖守府所屬以外ノ各廳ノ判任官、同待遇者若ハ部内限判任官待遇者ニ在リテハ所屬長官ノ所在スル司令部若ハ廳ニ」ヲ加フ

第十條中「一通ハ海軍省人事局又ハ所屬鎖守府ノ海軍人事部」ヲ「一通ハ海軍省人事局、所屬鎖守府ノ海軍人事部又ハ所屬長官ノ所在スル司令部若ハ廳」ニ、「差出スベシ」ヲ「提出スベシ」ニ改ム

第十條ノ二 判任官待遇以上ノ囑託者其ノ所轄ヲ變更シタルトキハ舊所轄長ハ履歷書副本ヲ新所轄長ニ送付スベシ判任官待遇者其ノ所屬ヲ變更シタルトキハ履歷書正本ハ之ヲ第九條ノ區分ニ從ヒ海軍省人事局、所屬鎖守府ノ海軍人事部又ハ所屬長官ノ所在スル司令部若ハ廳ニ送付スルモノトス

第十二條中「又ハ所屬鎖守府ノ海軍人事部長」ヲ「、所屬鎖守府ノ海軍人事部長又ハ所屬長官」ニ改ム

第十三條第一項中「海軍省人事局長」ヲ「所屬長官」ニ、同條第二項中「海軍人事部長」ヲ「所屬

長官又ハ海軍人事部長」ニ改ム  
 第十六條第二項中「又ハ所屬鎮守府ノ海軍人事部長」ヲ「所屬鎮守府ノ海軍人事部長又ハ所屬長官」ニ改ム

附則

本達ハ昭和十九年四月一日ヨリ之ヲ施行ス  
 第一様式ヲ左ノ如ク改ム  
 (第一様式)(用紙美濃紙)

年	月	日	所	轄	長
海軍大臣(所屬長官)殿			職印		
囑託探用具申書					
現(官)職名及現俸給等		某會社某課長 月俸貳百五拾圓			
位	勳	功	等	ナシ	
氏名及生年月日	何	某	年	月	日生

0196

年 月 日 海軍大臣(所屬長官)殿 所 轄 長 職印	第三様式(用紙美濃十三行野紙) (別紙履歷書、身元調書、戸籍謄本、身體検査證添) 報酬額算定ノ基礎 (學歴、閱歴、社會的地位、專務兼務、勤務時間等ヨリスル算定ノ基礎ヲ明ニス) 臨時軍事費、研究費、雜給及雜費 (學歴、閱歴、社會的地位、專務兼務、勤務時間等ヨリスル算定ノ基礎ヲ明ニス)	支 出 科 目 臨時軍事費、研究費、雜給及雜費	報 酬 待 遇 年額千參百圓 部内限奏任官待遇	專 務 兼 務 專務 (他ニ本務ヲ有セズ) 兼務 (他ニ本務ヲ有スルモノ) <small>(専ラ本職託ノ業務ニ從事スルモノ)</small>	嘱 託 期 間 (發令年月日ヨリ嘱託滿了ノ期日又ハ期間ヲ記入ス)	嘱 託 事 由 (嘱託ト爲スヲ要スル事由ヲ詳記ス要スレバ別紙トス)	嘱 託 名、(勤務地) 横須賀海軍工廠機關實驗部業務嘱託(横須賀)
-------------------------------------	--	----------------------------	----------------------------	--	-------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------

達

一七七

0197

囑託解囑具申書

氏名及生年月日	何 某	年 月 日生
囑託名(兼務別)	支那方面艦隊事務囑託(專務)	
從事シツツアル業務	上海在勤海軍武官府ニ於ケル翻譯事務	
現報酬(支給セラレタル年月日)及待遇	年額千六百五拾圓(昭和十八年十月一日)部内限奏任官待遇	
採用年月日	年 月 日	
解囑希望年月日	(解囑スベキ年月日ヲ記入ス)	
解囑事由	(解囑スルヲ要スル事由ヲ詳記ス 要スレバ別紙トス)	

第三様式中「海軍技術研究所ニ於ケル研究業務」ヲ「海軍技術研究所研究業務」ニ、「海軍省人事局ニ於ケル事務」ヲ「海軍省人事局事務」ニ、「横須賀海軍工廠ニ於ケル業務」ヲ「横須賀海軍工廠業務」ニ、「部内限判任官ヲ以テ待遇セラル」ヲ「部内限判任官待遇トス」ニ改メ同様式ヲ第四様式トス

0198

達第七十二號ノ二

戰時海軍工員規則中左ノ通改正ス

昭和十九年三月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第十四條中「及海軍療品廠」ヲ、「海軍療品廠及特設海軍運輸部（戦地ニ在ルモノヲ除ク）」ニ改ム

達

一七八ノ二

0199

達第七十三號

海軍兵補規則左ノ通定ム

昭和十九年三月十六日

海軍大臣 嶋田繁太郎

海軍兵補規則

第一章 總 則

第一條 大東亞戰爭中海軍ノ勤務ニ服セシムル爲作戦地其ノ他所要ノ地ニ於テ敵性ナキ外國人男子ヲ採用シ之ヲ海軍兵補(以下兵補ト稱ス)ト稱ス但獨立國(敵性國屬領民ヲ除ク)又ハ佛領印度支那政權下ニ在ル人民ハ之ヲ兵補ニ採用セザルヲ例トス

第二條 兵補ハ海軍軍人ノ命ヲ承ケ勤務ニ服セシム

第三條 艦隊司令長官又ハ特設警備府司令長官ハ部下各部ノ兵補配置標準ヲ定メ海軍大臣ノ認可ヲ受クベシ

第二章 採用、教育及配員

第四條 兵補ハ兵補志願者ニシテ左ノ各號ニ該當シ艦隊司令長官又ハ特設警備府司令長官ノ定ムル

達

一七九

0200



所ニ依リ採用検査ニ合格シタルモノノ中ヨリ之ヲ採用スルモノトス

一 採用ノ際ニ於テ年齢十七年以上三十年未満ノ者但シ海軍ノ勤務ニ適スト認ムル者ニシテ特ニ必要アルモノニハ此ノ限ニ在ラス

二 志操堅實、身體強健ニシテ素行善良ナル者

三 概ネ艦隊又ハ特設警備府ノ警備擔任區域内ニ定住シ且身元確實ナル者

四 禁錮(之ニ相當スルモノヲ含ム)以上ノ刑ニ處セラレタルコトナキ者

第五條 艦隊司令長官又ハ特設警備府司令長官ハ各種兵補ニ採用スベキ人種別員數及其ノ採用時期等ヲ定メ部下根據地隊司令官其ノ他各部ノ長(以下採用廳長ト稱ス)ヲ指定シ採用ノ事務ヲ行ハシムベシ

第六條 兵補ハ左ノ六種ニ區別ス

- 一 水兵科
- 二 整備科
- 三 機關科
- 四 工作科

0201

五 看護科

六 主計科

第七條 艦隊司令長官又ハ特設警備府司令長官ハ要員充足其ノ他ノ必要ニ依リ前條ノ規定ニ依ル科別ヲ變更シ又ハ科別ニ拘ラズ適宜ノ勤務ニ服セシムルコトヲ得

第八條 艦隊司令長官又ハ特設警備府司令長官兵補ヲ採用シタルトキハ其ノ科別人種別員數其ノ他參考ト爲ルベキ事項ヲ速ニ海軍大臣ニ報告スルト共ニ關係ノ向ニ通報スベシ

第九條 艦隊司令長官又ハ特設警備府司令長官ハ海軍軍政掌理區域以外ノ地ヨリ兵補ヲ採用セントスルトキハ現地陸軍最高指揮官ト協議スベシ

第十條 採用廳長ハ兵補ヲ採用シタルトキハ兵補履歴表ニ通ヲ調製シ其ノ一通ヲ保管スベシ兵補履歴表ノ取扱ニ關シテハ海軍下士官兵履歴表ニ關スル規定ヲ準用ス

第十一條 兵補ヲ採用シタルトキハ艦隊司令長官又ハ特設警備府司令長官ノ定ムル所ニ依リ特設根據地隊、特設警備隊等(以下教育廳ト稱ス)ニ於テ約六月間所要ノ基礎教育ヲ實施スベシ

前項ノ規定ニ依ル教育期間ハ必要ニ應ジ適宜伸縮スルコトヲ得

第十二條 艦隊司令長官又ハ警備府司令長官ハ兵補ヲ部下各部ニ配員ス但シ必要ニ應ジ特設海軍補

達

一八一

0202